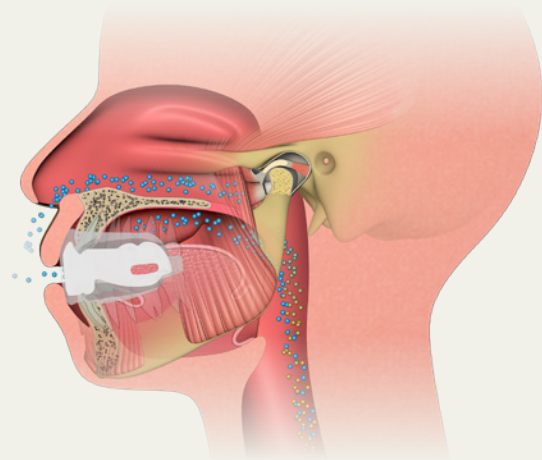


Myosa®プログラムの紹介

Myosa®の治療プログラムには、睡眠関連呼吸障害(SRBD)や顎関節症(TMJ/D)の存在を確認するための具体的な評価、診断、および治療の段階が含まれています。これらの障害はTMJBDS®(Teeth, Muscle, Jaws, Breathing and Disordered Sleep関連症状)と称する症候群としてまとめられています。

Myosa®の治療プログラムは、迅速に症状を軽減できるだけでなく、根本原因に対処できるよう特別に設計されています。

結果に個人差はありますが、Myosa®の治療プログラムは、徹底的な症状解消を目指します。



注意: 口腔内装置は歯の位置や顎関係に変化を与える可能性があります。硬質な下顎前方移動装置とは異なり、柔軟性があるため、顎関節の痛みや永久的な咬合の変化の可能性を最小限に抑えることができます。

設計の特徴

- 柔軟な熱可塑性素材の2重成型構造により、上下の歯にしっかり適合させることができます。
- 2つの大きな呼吸孔が効果的に口呼吸者の呼吸を調節します。
- タンタグが舌を正しい安静位に誘導し、気道を広げていびきの発生を軽減します。
- Air Spring Core™は気道を開くとともに、最大限の開口運動を可能にし、顎関節にかかる圧を減少させ、クリッキングを軽減します。
- Myosa® S1Mは、日中装着するその他のMyosa®装置と併用することができます。

Myosa® S1Mを3~4ヶ月間使用して症状が改善した場合は、続いてMyosa® S2またはS2Mを使用します。

洗浄方法: Myosa®使用後は毎回ぬるま湯の流水下で洗浄してください。週に2回、Myoclean™を使用して洗浄してください。Myoclean™は、全てのMyosa®装置に推奨される洗浄剤です。かかりつけの歯科医師、スタッフにお問い合わせください。

重要: 正確な診断のためには、必ず医師による診察が必要です。

耐用年数: 6ヶ月(毎日使用した場合)
使用期間に関わらず、12ヶ月で交換してください。



Myosa® by Myofunctional Research Co.
Myofunctional Research Co. Australia:
44 Siganto Drive, Helensvale QLD 4212 Australia
Tel: +61 7 5573 5999

USA Representative:
Myofunctional Research Co. USA
9267 Charles Smith Avenue, Rancho Cucamonga CA 91730 USA
PO Box 2781, Rancho Cucamonga CA 91730 USA
Tel: +1 866 550 4696

European Representative:
Myofunctional Research Europe B.V.
Gompensstraat 21c 5145 RM Waalwijk The Netherlands
P.O. Box 718, 5140 AS Waalwijk The Netherlands
Tel: +31 416 651 696

患者1人用
MYOFUNCTIONAL RESEARCH CO.
INNOVATIVE DENTAL APPLIANCE
TECHNOLOGY AND EDUCATION



直射日光を
避けてくだ
さい。

使用する前
に洗浄して
ください。

Myosa_TMJBDS_S1M_INS_0719_JAP_v1.1.1

MYOFUNCTIONAL SLEEP APPLIANCE

myosa®



S1M

TMJBDS®
FOR TMJ, BREATHING
& DISORDERED SLEEP

ステージ1 成型タイプ
口呼吸者

www.myosa.com

国際特許

詳細はMYORESEARCH.COMをご覧ください。

問題の理解

世界中で多くの方が睡眠障害や顎関節症を抱えています。この障害は、さまざまな症状が起り、原因を特定して適切な治療を施すことが困難なため、診断されてないか、あるいは正しい治療を受けていないことがほとんどです。頭痛、頸部痛、夜間のいびきや日中の倦怠感といった症状は、関連がないように見えますが、これらすべての症状は一つの健康問題に起因します。顎関節症の原因には口呼吸と誤った飲み込みが含まれるため、これらの症状が同時に起こることが頻繁にあります。

正常な鼻呼吸と口呼吸の比較

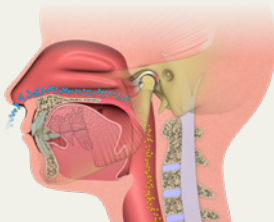
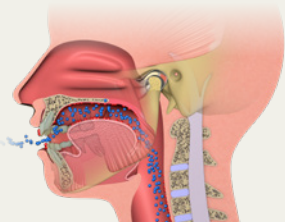
口呼吸は異常であり、睡眠時呼吸障害 (SDB) の原因の一つです。子どもが口呼吸をすると、顎が前方に正しく発育しません。成人のSDB患者は通常、顎が劣成長であり、それが舌と下顎が気道を狭める原因となっています。従って、舌と下顎を前方で保持して、気道を開いた状態に保つためには、鼻からの正しい呼吸を習慣づけることが重要です。

口呼吸

舌位： 下

鼻呼吸

舌位： 上



Myosa® S1 成型タイプ ステージ1

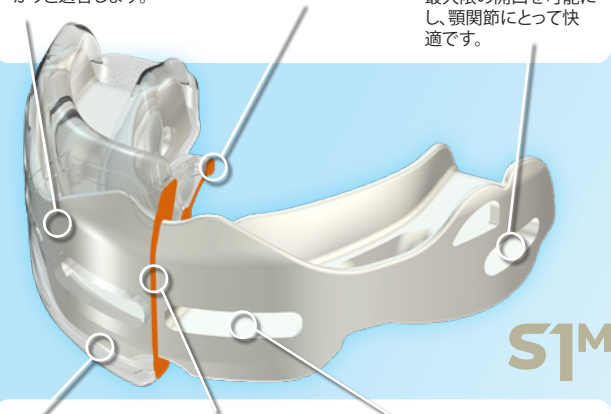
TMJBDS® S1 Mouldable (S1M)用のMyosa®は、就寝中に口呼吸を行う患者さん専用設計されています。この装置は、TMJBDS®の治療のみならず、診断にも使用することができます。就寝中に下顎を前方誘導することで咬合を挙上し、気道を開く効果があります。さらに、S1Mは装置前方部に施された2つの大きな呼吸孔が呼吸を調節するとともに、特許を持つ構造であるAir Spring Core™が顎関節のクッションとして働きます。2重成型構造により口腔内に快適にフィットし、就寝中の口呼吸者に対し、最適な保持力を発揮します。

Myosa® S1 Mouldable 設計の特徴

柔軟な熱可塑性素材により、上下顎の歯にしっかりと適合します。

タンタグが舌を正しい安静位に誘導します。

Air Spring Core™は、気道を開くとともに、最大限の開口を可能にし、顎関節にとって快適です。



タンタグエレベーターが舌を正しい位置に保持します。

硬質な内部フレームと、柔軟な外装を持つ2重成型構造により、口腔内に快適にフィットします。

2つの大きな呼吸孔が口呼吸者の呼吸を調節します。

使用説明

Myosa®使用前に、医科的な問題が疑われる睡眠障害については、医師の診断を受けるようにしてください。口腔内装置であるMyosa®は、痛みが改善するまで日中に使用することでTMJBDS®の症状を緩和します。日中の装着に慣れたら、日中1時間の装着に加え、夜間就寝中にも装着してください。

使用方法



ステップ1: 沸騰したてのお湯を耐熱容器に注いでください。すぐにS1Mを上逆さに(基底部を上にして)60秒間お湯につけてください。



ステップ2: スプーンなどでS1Mをお湯から優しく取り出し、余分な水分を払い、表面が適温になるまで冷まします。すぐに次の作業に進んでください。



ステップ3: S1Mの中心を上顎前歯の正中に合わせ、前歯と大臼歯にしっかりと押し当ててください。



ステップ4: S1Mをしっかり噛みながら口を閉じてください。強く吸い付けて、口唇と頬の上から装置辺縁部を歯と歯肉縁に押し当ててください。(この状態で20秒間保持します。)



ステップ5: 口腔内から取り出し、2分間流水で冷やしてください。再度口腔内に入れて、しっかりと適合するかどうか確認してください。再調整の必要があれば、S1Mが室温に戻ったことを確認してから、この手順を繰り返して行ってください。

Myosa®装置を強く噛みこまないでください。

必要であれば、治療中に何回でも調整可能です。